

JCOAL(一般財団法人石炭フロンティア機構)

石炭灰有効利用シンポジウム2021 開催案内

～石炭灰利用とカーボンリサイクル技術の融合～

主 催： 一般財団法人石炭フロンティア機構

後 援： 経済産業省資源エネルギー庁、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、
日本フライアッシュ協会

JCOALは、国際的な石炭供給の増大と地球環境に調和する石炭利用の推進を図り、わが国におけるエネルギーの安定確保・産業経済の健全な発展に寄与することを目的として、石炭の持つ資源量や経済的な優位性を温室効果ガスの排出削減という地球課題と両立させた高度利用を目指し活動を進めており、その一環として石炭灰有効利用にも取り組んでいます。

政府方針で示された2030年の温室効果ガス46%削減や2050年のカーボンニュートラルに向けた取り組みが、様々な形で推進されています。今後、非効率石炭火力発電のフェードアウトや再生可能エネルギーの主力電源化に伴い、石炭灰の発生・有効利用環境の変貌や品質面への影響などが想定されています。一方、カーボンリサイクル技術の中でも早期の実用化が期待される炭酸塩化の分野においては、石炭灰の有効活用とセメント・コンクリートや石炭灰混合材料などとの融合を図る様々な開発が推進されています。

本シンポジウムは2003年より隔年で開催しており、今年で第10回目の開催となります。本年度は、こうした石炭灰を取巻く環境の変化やカーボンニュートラル社会の実現を見据えた技術開発や事業化への取り組み事例について12件のご講演をいただきます。

多くの皆さまの参加申込みをお待ちしております。

- 日 時： 2021(令和3)年12月9日(木) 9:30～17:20
- 会 場： Web形式
- 参加費： JCOAL会員:無料、非会員:3,000円、官公庁・大学等:無料
※JCOALの会員企業 → (<http://www.jcoal.or.jp/overview/member/>)
- 参加申込： お申し込みフォーム(<https://forms.office.com/r/h8USsEBvHQ>)、またはQRコードよりお申し込みください。



※現在も申込を受け付けております。

- 支払方法： 非会員の方には、申込み受付後、請求書をお送りします。
※キャンセルポリシー → お支払い後の返金はお受けしていません。
予めご了承ください。
- 問合せ先： 〒105-0003 東京都港区西新橋三丁目2-1 Daiwa西新橋ビル3階
一般財団法人石炭フロンティア機構 技術開発部 (鷺巣、郡山)
TEL: 03-6402-6103
E-mail: [coal-ash-symp\(a\)jcoal.or.jp](mailto:coal-ash-symp(a)jcoal.or.jp) (※(a)を@にしてご使用ください。)

<プログラム>

※題目や講演者等、予告なく変更する場合がございます※

(敬称略)

セッション0： 開会 (9:30~10:30)

09:30~ 開会

09:30~09:40 主催者挨拶

一般財団法人石炭フロンティア機構

会長

北村 雅良

09:40~09:50 来賓ご挨拶

(1) 経済産業省挨拶

経済産業省 資源エネルギー庁

資源・燃料部 石炭課 企画官

藤原 晋一

(2) 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構挨拶

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

環境部長

上原 英司

09:50~10:30 基調講演：「2050年カーボンニュートラルの実現と

石炭灰・スラグを活用したコンクリート構造物の高耐久化」

日本大学 工学部 教授

岩城 一郎

セッションI：コンクリート分野等での石炭灰利用と炭酸塩化技術との融合 (10:30~12:00)

(パネルディスカッション)

10:30~10:50 パネリスト：「石炭灰の発生・有効利用環境の変化と炭酸塩化技術との融合」

一般財団法人石炭フロンティア機構

大中 昭

10:50~11:10 パネリスト：「カーボンリサイクル技術（炭酸塩化）とコンクリート品質について」

一般財団法人電力中央研究所

山本 武志

11:10~11:30 パネリスト：「安価で高機能な低炭素コンクリート代替材の開発

—石炭灰重量モルタルによる藻場造成実証研究をきっかけに考える—

電源開発株式会社

鍵本 広之

11:30~12:00 パネルディスカッション

コーディネーター：

宇都宮大学 地域デザイン科学部 学部長

(JCOAL 石炭灰利用委員会・委員長)

藤原 浩巳

12:00~13:00

昼食・休憩

セッションⅡ：カーボンリサイクルに寄与する石炭灰の有効利用技術（13：00～15：10）

- 13:00～13:20 講演：「カーボンリサイクル・コンクリート：T-eConcrete®/Carbon-Recycleについて」
大成建設株式会社 大脇 英司
- 13:20～13:40 講演：「石炭灰を有効利用できるカーボンリサイクル技術（CO₂-SUICOMとCO₂-TriCOM）の紹介」
中国電力株式会社 河内 友一
- 13:40～14:00 講演：「カーボンリサイクル技術に係わる海外事業の導入事例」
三菱商事株式会社 中村 富郎
- 14:00～14:20 講演：「CO₂低排出型コンクリート製建設資材の実用化状況について」
中川ヒューム管工業株式会社 人見 隆
- 14:20～14:40 講演：「海域での石炭灰を利用した取組紹介（藻場再生を中心として）」
一般財団法人石炭フロンティア機構 河口 真紀
- 14:50～15:10 質疑応答

15:10～15:40 休憩

セッションⅢ：石炭灰・スラグ関連製品事業の現状と普及拡大に向けた取組み（15：40～17:10）

- 15:40～16:00 講演：「石炭ガス化スラグ骨材 JIS 規格制定と学会指針作成への取組み」
東京電力ホールディングス株式会社 松浦 忠孝
- 16:00～16:20 講演：「石炭ガス化スラグのコンクリート用細骨材製造事業について」
東京パワーテクノロジー株式会社 村上 翔一
- 16:20～16:40 講演：「石炭灰混合材料事業拡大と各種技術開発・用途拡大等の試みについて」
福島エコクリート株式会社 横田 季彦
- 16:50～17:10 質疑応答

17:10～17:20 閉会挨拶
一般財団法人石炭フロンティア機構
理事長 塚本 修

以上